

「馬印の氷砂糖」の販売につきまして、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

5月も中旬となり、青梅の出回りもいよいよ間近にせまってまいりました。今回は和歌山県南部地区と群馬県榛名、箕郷地区を視察してまいりましたので、その作柄状況についてお知らせ申し上げます。また、冰糖出荷につきましては、青梅の出回りに合わせ万全の準備を致しておりますが、ご注文の集中が予想されるため、お早めの指図をお願い申し上げます。

梅の状況

和歌山県

結実後の天候は、周期的な寒暖はありましたが、日照、降雨量とも順調に推移しております。果実の肥大状況は、昨年より約一週間早く、5月8日現在、3～4cmの大きさまで成長しています。生理落下はほぼ終了し、着果数が少なかったため、落果数も少量でした。

4月23日の着果調査では、南高が前年比101%、古城は半減と、品種により大きな違いがみられます。ただ、古城は全体の2～3%の量で、大勢には影響ありません。また、地区によるバラツキがあり、水田転用地等の平野部は良く、山間部、北向き園はやや少ない傾向です。

J Aでは、現時点の予想収穫量を南高が前年比100%、古城が64%、全体で99%と見込んでいます。出荷時期は、生育が進んでいるため昨年より数日早くなり、古城が5月18日、南高が5月25日頃から始まり、ピークは6月10日頃になります。産地としても、梅干の需要が限られているため、青梅の拡売に積極的に取り組んでおり、安定した量の出回りが期待されます。

群馬県

生育は例年より約一週間早く、5月12日現在、2～3cmの実を付けています。GW後の着果調査では、昨年よりやや少なく、地区、園地によってバラツキがみられます。開花期の気温が低く、ミツバチの活動が鈍かったため、受粉にムラがでたことと、遅霜の被害が影響しているようです。

収穫量は昨年より弱冠少なくなると予想されます。群馬では、加工はカリカリ梅があるだけで、ほとんど青梅として主に関東圏に出荷されます。出荷時期は昨年よりやや早く、小梅が5月17日、主力の白加賀5月27日頃から始まります。

和歌山県 2009年5月8日撮影



群馬県 2009年5月12日撮影



長期陳列のお願い

和歌山南高のピークは6月中旬で、未までは収穫されます。また地場の梅は遅く、例えば中部地区では6月中旬過ぎが収穫時期になります。一部量販店では6月中旬頃に梅コーナーを引き揚げられることがありますが、販売チャンスをロスしないよう長期陳列のアドバイスをお願いします。

コンテナ出荷リードタイムのお願い

昨今、環境に対する意識の高まりと、原油価格高騰により大口配送がトラック輸送からコンテナ輸送に移行し、コンテナ不足及び鉄道輸送量過多の状況です。よって従来通りのリードタイムでは配送が困難な状況であります。つきましては、コンテナ出荷において余裕を持ったご注文を頂きますようお願い申し上げます。

販促

梅シロップ教室、マネキン試飲

5/23～6/14 全国各地の量販店で実施

全日本冰糖工業組合PR

テレビパブリシティ

JNN系列全国ネット「そらナビ」で梅シロップの作り方紹介
毎日新聞、webによる梅シロップ広告

ホームページのご案内

〔パソコン用〕 <http://www.nakahyo.co.jp/>

〔携帯用〕 <http://www.nakahyo.co.jp/i/>

弊社南濃梅園



弊社ホームページ(パソコン用)にて、南濃梅園の生育状況を二週間毎にお知らせしています。ぜひ一度アクセスして頂き、冰糖販売のご参考にして頂ければ幸いです。

本年も引き続き梅酒、梅シロップのPRを積極的に行い、消費の拡大につなげていきたいと考えています。何卒、従来にも増して「馬印の氷砂糖」のご愛顧をお願い申し上げます。

2009年5月11日撮影

